

第 3 次掛川市総合計画の策定状況について

第 3 次掛川市総合計画の策定状況について御報告します。

1 将来ビジョン案

だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ

検討の経緯

- (案 1) だれもが自分らしく暮らせる 持続可能な未来共創都市 かけがわ
- (案 2) だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ
議会、総合計画審議会、職員の意見を踏まえ、案 2 を将来ビジョン案とした。

[議会 (12/10 議員懇談会) の主な意見]

- ・案 2 : 進化しつづけないと共創できない。現状維持の印象ではなく変わっていくことをねらってもらいたい。

[総合計画審議会 (12/12) の主な意見]

- ・案 1 : リズムが良く、頭に入りやすい。
- ・案 2 : DEI・DX・共創を考えた時、ワクワク感やまちの発展を直感的に伝えやすい。
- ・案 2 : 2030 年以降、サステナブルは使わない可能性がある。

[職員投票 (12/5~12/12) の結果と主な意見]

○結果 案 1 90 票 (47.1%) 案 2 101 票 (52.9%)

○主な意見

- ・案 1 : 持続可能は、これまで市が一貫してきたテーマであり、市民になじみがあって信頼が得られやすい。
- ・案 1 : 持続可能を軸とした政策方針の継続が重要である。
- ・案 1 : 持続可能は、市民に安心感を与え、将来像をイメージしやすい。
- ・案 1 : 持続可能は、現状維持にとどまるイメージがあり、消極的に感じる。
- ・案 2 : 進化しつづけるは、現状に甘んじず、常に前進し続ける姿勢を表しており、掛川市の未来像にふさわしい。
- ・案 2 : 進化しつづけるは、市民や若者、外国人にも直感的に理解しやすい表現である。
- ・案 2 : 社会の転換期において、進化するからこそ持続可能な社会が実現できる。
- ・案 2 : 高齢者層や変化を不安に感じる市民にとっては、進化という言葉が負担に感じられる。

2 パブリックコメントの結果

- (1) 期 間 令和7年12月17日～令和8年1月16日（31日間）
- (2) 件数等 61件（16人）
- (3) 内 容 パブリックコメントの内容及び市の考え方については、資料1参照

3 地域幸福度（Well-Being）指標の設定

総合計画実行の最終目標は、市民の幸せの実現であることに着目し、人の幸せを支える様々な要素（生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方）を総合的にとらえるため、基本計画において地域幸福度（Well-Being）指標を設定し、成果測定を行う。なお、個々の政策ごとの成果測定は、予算決算説明書（KGI、KPI）にて行う。

- (1) 令和7年度掛川市幸福度に関するアンケート結果 ※詳細は「資料2」

- ① 期 間 令和7年10月15日～10月31日
- ② 回収率 30.8%（615枚）

- (2) 指標項目、基準値及び目標値の設定

- ・アンケート全51問の内、主要の質問となる以下の3問について設定する。
- ・設定の考え方は、10点中6点以上を幸せと感じている（まあ幸せと感じている）層と捉える。
- ・回答者は、10点中「どちらでもない」という意味で5点を選択する傾向があると考えられるため、施策の実施により、5点回答の層が、6点に上がったのか、4点に下がったのかを追跡する。
- ・この5点の層が幸せ（まあ幸せ）と感じられる（6点以上に上がる）ことをターゲットとし、結果的に6点から10点の割合を増やすことをねらって指標を設定する。

成果指標① 現在、あなたはどの程度幸せですか？

- ・基準値（R7調査） 6点以上の割合（10点中）：74.6% 全体平均点 7.01
- ・目標値 5年後：80% 10年後：80%以上を維持かつ全体平均 8.0点以上

成果指標② 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか？

- ・基準値（R7調査） 6点以上の割合（10点中）：69.6% 全体平均点 6.73
- ・目標値 5年後：80% 10年後：80%以上を維持かつ全体平均 8.0点以上

成果指標③ 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか？

- ・基準値（R7調査） 6点以上の割合（10点中）：65.3% 全体平均点 6.40
- ・目標値 5年後：70.2% 10年後：80%以上を維持かつ全体平均 8.0点以上

4 第3次掛川市総合計画（案）

資料3

5 今後のスケジュール（予定）

- ・2月4日（水） 全員協議会
- ・2月19日（木） 議案提出（基本構想）